

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	Academic Spoken English I		
英文授業科目名	Academic Spoken English I		
開講年度	2007年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	Damian Lucantonio		
居室	東1 - 611		

公開E-Mail	授業関連Webページ
damian@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>Goals:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. To learn how to speak in different ways (for example, to give an opinion, to explain how something works, to tell stories, to give an explanation, to make a report). 2. To improve listening skills. 3. To learn how to think critically in English (for example, to give good reasons for an opinion, to discuss current topics)

【前もって履修しておくべき科目】
No

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
No

【教科書等】
<p>(例)</p> <p>教科書： 参考書：授業内容の理解に役立つ参考書がある場合，参考書も記述してください。</p>

【授業内容とその進め方】

必須項目。

注1：授業内容と、授業の進め方は、学生がわかるようになっていれば、必ずしも各回ごとに分離して記述する必要はありません。

注2：下記の例2において、第N回は第N週を意味するものではありません。学生が回を追ってどのような内容が授業されるかがわかり、それを見て予習などができるようにすることが目的なので、学生が予め授業内容がわかるならば(例1)のように包括的な説明と主要なトピックスを示す方法もあります。

(例1)

(a) 授業内容

この授業では、～の説明からスタ

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

必須項目。

注1：評価方法は、学生が自分の成績評価を確認できるように、(%による表示は必須ではありませんが)極力具体的に示してください。

注2：成績評価の公正さを期するためにも、必ず評価基準を記述してください。評価基準とは、少なくとも単位取得に必要なレベル(可と不可の区別を示す基準)を意味します。より上位のレベルの基準は、必要ならば記述してください。

注3：同一科目を複数の教官が担当する場合、不公平が生じないように、この項目の書き方については、事前に担当者間で十分にご相談の上、記入してくだ

【オフィスアワー：授業相談】

必須項目。

授業内容の理解促進等のために、授業時間外で、学生の質問・相談に応じる時間帯等について記述してください。

(例1) 適宜相談に応じるが、電話などで事前にアポイントを取ること。

(例2) 水曜日 12:00～14:00

(例3) 特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

(例)

「もの作り」にたずさわる人にとっては勿論のこと、たとえハードウェアを扱わなくてもシステムの動作原理を理解し、発展させるためには、電子回路の基本を十分理解している必要がある。授業中に一つずつしっかり理解していけば、難しい内容ではない。

電気通信大学 平成19年度シラバス

【その他】